

(学校行事)

よりよい人間関係を築くたてわり班活動

大阪市立福小学校

1. 研究主題設定の理由

本校は「豊かな心をもち、進んで学ぶ子の育成」を教育目標に、「認め合い、助け合う子(徳)」「自ら学び、正しく判断する子(知)」「強いところとからだにきたえる子(体)」をめざす子ども像として教育実践を行っている。また、本校は単学級であり、あたたかい家庭的な雰囲気のなかで育ってきている。さらに異学年で編成するたてわり活動も活発に行われ、全校遠足・たてわり掃除などの学校行事、ゲーム集会やなわとび集会、夏の集いや卒業生を祝う会などの児童会活動もたてわり班を編成して活動を行ってきた。さらに平成31年度には「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」を受け、「考え、議論する道徳の充実」を主題に道徳科について研究を行った。以降も毎週の道徳科で自分の思いを交流するような学習を工夫して授業をしたり、教科・領域をはじめ学校生活のなかで道徳教育を意識した指導を行ったりしてきた。

令和3年度より学校行事を引き続き研究教科として設定した。道徳科の学習で築き上げてきた道徳的資質の実践の場として特別活動の学校行事を行い、たてわり班の活動を通して児童のよりよい人間関係づくりを育成することを研究主題とした。

2. 研究の趣旨

コロナ禍により学校の教育活動が中止や延期、縮小となり、たてわり班でこれまで育成してきた人間関係づくりの機会が少なくなった。自分や相手のことを自ら考えて行動する機会や、進んで学ぶという機会も減り、たてわり班の仲間意識も希薄になっていく様子が見えてきた。道徳科の学習では児童が道徳的諸価値について考え議論もできるようにはなってきたが、実際の学校生活の中で自分の意見を相手に伝えたり受け取ったりすることや判断する機会も減ってしまった。

また、コロナ禍において学校行事が中止や延期され、計画通り実施すること自体も予測困難であったため、学校行事を実施するにあたり、計画・内容、代替案についても改めて検討した。コロナ禍であるからこそ学校行事を研究する重要性があると考えた。学校行事の中では児童が集団の中での自己有用感をもつことができること、道徳的な資質を実践することができることを学校行事の活動の中でめざし、よりよい人間関係を構築することができるようにしていきたい。

3. 研究の概要

研究主題にせまるため、研究の視点を以下のように設定した。

視点①活動内容の工夫(人間関係形成, 社会参画)

- ・一人一人がたてわり班で活躍できる場の設定と活動の工夫をする。
- ・異学年での人間関係づくりの基礎となる話し合い活動の充実を図る。
- ・話し合い活動の活性化をはかる。どの児童も安心して話せるように話型やハンドサイン、ルールやマナー、司会・記録などの指導を充実させる。

視点②がんばりカードの活用(自己実現)

- ・児童が自らの活動に目標をもったり見通したり、ふり返ったりして自己評価を行うとともに、主

体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげる。

- ・指導者が児童のがんばりカードと対話的に関わり、キャリアパスポートとして児童の育成や指導に活用していくことを検討する。

視点③ 道徳科・道徳教育との関連（社会参画）

- ・学校行事の指導を通して道徳的な心情や判断力、実践意欲と態度を育てる。
- ・道徳科の学習を直接学校行事に結びつけるものではないが、道徳科学習の充実をはかることで道徳実践の素地を養う。
- ・働くことの大切さや、社会に奉仕する喜びを知り、公共のために役立とうとする態度を育てる。

4. 研究の成果と今後の課題

（1）研究の成果

- ・令和3年度では、令和2年度からのコロナ禍により中止・縮小となっていた学校行事について代替案や感染対策を講じながら工夫して活動することができるよう研究を進めた。
- ・異学年での活動は特に制限があり、学校行事も感染状況に大きく左右されるが、そのようなコロナ禍であるからこそたてわり活動の研究の重要性をあらためて認識することができた。
- ・児童にとっても1年の中止期間があったたてわり班を再開し、中・高学年は以前に活動していた学校行事を再開する中で、学級とはまた違ったたてわり班での居場所を再認識することができた。また、勤労生産・奉仕的行事において「活動の楽しさ」とは何かを考えることができた。誰もが活躍でき、道徳的な実践を発揮できるような活動の工夫を行うことで「活動の楽しさ」を子どもに考えさせることができた。

（2）今後の課題

- ・低、中、高学年の話し合いの仕方や役割をどのようにもたせるかを今後も考えていく。
- ・児童が児童同士をよく知らなければペアが組めない。→基礎となる活動を関連させて指導を行う。
- ・たてわり清掃の発展―地域（社会参画）へとつなげていく。
- ・コロナ禍で学校行事の実施にむけてどのように計画をたてていくか。
- ・がんばりカードの指導について→キャリアパスポートとしてどう活用できるかを検討していく。
- ・来年は編成替のため班をどのように編成するかを検討するとともに、児童も新しい班で活躍できるような学校行事の指導をおこなっていく。